

令和 7 年度（2025 年度）

千葉大学工学部

私費外国人留学生選抜 学生募集要項

令和 6 年（2024 年）6 月

目 次

工学部入学者受入れの方針（アドミッションポリシー）	1
I 日本留学試験利用による選抜	
1. 募集する学科・コース及び募集人員	3
2. 出願資格	3
3. 個別の入学資格審査	4
4. 身体等に障害のある入学志願者の事前相談	5
5. 出願手続等	5
6. 入学者選抜	11
7. 合格者発表	11
8. 入学手続等	11
II コースの紹介	13
III 入学後の教育について	18
千葉大学案内図，工学系学部学務室問い合わせ先	裏表紙

工学部ホームページ <https://www.f-eng.chiba-u.jp/>

令和6年度（2024年度）工学部私費外国人留学生選抜 実施状況

募集学科・コース		募集人員	受験者数			合格者数		
			男	女	計	男	女	計
総合 工 学 科	建築学コース	若干名	1	1	2	1	1	2
	都市工学コース	若干名	0	0	0	－	－	－
	デザインコース	若干名	0	0	0	－	－	－
	機械工学コース	若干名	2	0	2	2	0	2
	医工学コース	若干名	1	3	4	0	2	2
	電気電子工学コース	若干名	3	0	3	0	0	0
	物質科学コース	若干名	4	0	4	3	0	3
	共生応用化学コース	若干名	1	2	3	1	1	2
	情報工学コース※	若干名	9	1	10	4	0	4
合 計		若干名	21	7	28	11	4	15

※ 情報工学コースについて，情報・データサイエンス学部の実施状況を記載しております。令和7年度（2025年度）私費外国人留学生選抜からは工学部ではなく，情報・データサイエンス学部にて募集を行います。

工学部入学者受入れの方針（アドミッションポリシー）

【工学部入学者受入れの方針】

・工学部の求める入学者

現代社会では、豊かな暮らしを目指して効率性や利便性を追求するだけでなく、人と環境にやさしい配慮も求められています。工学部では、工学教育の伝統的な専門性を尊重しながらも、その枠を超えて互いの連携・融合を図ることにより、常に、広範な社会的要請に応えられる専門教育システムの確立に努めています。そして、「なぜ」を問い、「何をなすべきか」を考え、「いかにして」を構想し実践できる工学技術者・研究者の育成を目指します。

私たちは、工学を「豊かな人間社会の構築を目指す実践の学問」と考えています。社会と環境を支える技術者・研究者を育成する工学部では、

1. 「なぜ」を問う好奇心・探究心
2. 「何をなすべきか」を主体的に考える力
3. 「いかにして」を構想し、実践する力

を修得することに、興味と資質を有する人材を求めます。

・入学者選抜の基本方針

本学部の教育理念・目標に合致した学生を選抜するために、以下のとおり入学者選抜を実施します。

1. 一般選抜

(1) 前期日程

大学入学共通テスト、個別学力検査等の成績及び調査書の内容を総合して評価します。

(2) 後期日程（デザインコース及び物質科学コースは除く）

大学入学共通テスト、個別学力検査等の成績及び調査書の内容を総合して評価します。

2. 特別選抜

(1) 総合型選抜

①デザインコース

第1次選抜では、提出された調査書等及び試験第1日目に行う専門適性を判定する課題の内容を総合的に評価し、第1次選抜合格者を決定します。第2次選抜では、第1次選抜合格者に対して、試験第2日目に課題説明を含めた面接を行い、それらの結果からデザインコースで学ぶための資質と適性を総合的に評価し第2次選抜合格者を決定します。第2次選抜合格者のうち、大学入学共通テストで指定する教科・科目の総得点（配点合計）が概ね70％に達した者を最終合格者として決定します。

②物質科学コース（理数大好き学生選抜）

(ア) 方式Ⅰ

スーパーサイエンスハイスクール（SSH）活動やクラブ活動、あるいは個人等で行った課題研究で優れた成果をあげたものには、個別学力検査に代え、当該課題研究に関する発表等を含めた面接を行い、数学・理科の基礎的な資質・能力、自己表現力、熱意などを総合的に評価します。また、大学入学共通テストの成績で、指定する教科・科目の総得点（配点合計）が概ね70％に達した者を最終合格者として決定します。

(イ) 方式Ⅱ

著名な国際科学コンクールの日本代表またはそれに準ずる成績をおさめたものには、個別学力検査に代え、受賞した研究に関する発表や口頭試問を含めた面接を行い、基礎学力、数学・理科の基礎的な資質・能力、自己表現力、熱意などを総合的に評価します。

(2) 先進科学プログラム（飛び入学）学生選抜

先進科学プログラムの入学者選抜の基本方針に基づき評価します。

(3) 私費外国人留学生選抜

外国人留学生に対して、提出書類、日本留学試験の成績及び面接により総合的に判定します。面接ではコミュニケーション能力、学習意欲、各コースの専門分野における広い関心について評価します。

・入学までに身に付けてほしいこと

高等学校で履修した科目（大学入学共通テストで課している科目）について十分に理解できていることが必要です。数学を含む理系科目は工学の基礎となる科目なのでとても重要ですが、国語や外国語も将来、国内外の知見を収集し、成果を発信する上で重要です。論理的な思考で組み立てられた論文や報告書、発表や説明ができなければ、自らの考えを他人に伝えられないので、技術者・研究者としての価値がなくなってしまうです。また、「なぜ」を問い、「何をなすべきか」を考え、「いかにして」を構想し実践する上で、もう一つ重要なこととして、「学ぶ」ことを楽しむ姿勢を身に付けていて欲しいと考えています。

なお、工学部では、工学共通の教育に加えて、専門性を深めていくために、8つのコースのうちのいずれかに所属して学習していきます。それぞれのコースで学ぶに当たっては、特に以下のような能力や姿勢を身に付けておくことが望まれます。

建築学コース：建築・都市及び社会の動向や芸術文化に関心を持ち、現代の様々な課題に対して意欲的に探究する姿勢。

都市工学コース：持続的で豊かな都市の創造を目指して、探求心と総合的視野を持ちつつ、都市に関わる様々な課題に取り組む意欲。

デザインコース：地球環境，社会，文化など幅広い事象に興味を示し総合して考える姿勢，最先端の科学と技術を理解して，様々に試みを行いながら創造的な提案を実現しようとする意欲。

機械工学コース：事物や現象から仕組みを物理的及び化学的に洞察して数学的に表現する能力，幅広い分野の知識を統合して物事を総合的に捉える能力，ならびに機械工学への興味。

医工学コース：電気電子工学，機械工学，情報工学など幅広い関心を有すること。また，医工学は生命や健康と福祉に直接的・間接的に寄与しているという意識。

電気電子工学コース：電気電子工学の社会的使命に興味を示し，その科学技術の発展に寄与したいと強く希望する姿勢。さらに，そのための専門的な知識・能力を習得する意欲と，それを支える基礎的素養と能力。

物質科学コース：自然の様々な現象や人類の発明・発見について興味を深め，自ら積極的に物質科学における問題を探究するための基礎となる，物理，化学及び数学の総合的な学力。

共生応用化学コース：化学を中心にした学問領域を学ぶための基礎学力と，将来，化学だけでなく他の分野との境界領域で仕事をするために化学以外の科目にも興味を持って学ぶ姿勢。

I 日本留学試験利用による選抜

1. 募集する学科・コース及び募集人員

募集学科・コース		募集人員	備 考
総合工学科	建築学コース	若干名	出願の際、志望するコースを選択してください。
	都市工学コース	若干名	
	デザインコース	若干名	
	機械工学コース	若干名	
	医工学コース	若干名	
	電気電子工学コース	若干名	
	物質科学コース	若干名	
	共生応用化学コース	若干名	

2. 出願資格

日本国籍を有しない者で、かつ、次の(1)、(2)、(3)及び(4)のすべての要件を満たすもの（大学入学共通テストは免除します。）

(1) 出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格を有する者及び令和 7 年（2025 年）4 月までに取得できる見込みの者（日本国永住者を除く。）

(2) 次のいずれかに該当する者

① 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者及び令和 7 年（2025 年）3 月までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

(注)「これに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの」は、次のとおりです。

ア 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む。）に合格した者で、18 歳に達したもの及び令和 7 年（2025 年）3 月までに 18 歳に達するもの

イ 外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者（これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む。）に合格した者を含む。）で、文部科学大臣が別に定めるところにより指定した我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了したもの

ウ 外国において、高等学校に対応する学校の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 11 年以上の課程を修了したとされるものであることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを修了した者及び令和 7 年（2025 年）3 月までに修了見込みの者

② スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を外国において取得した者

③ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を外国において取得した者

④ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を外国において取得した者

⑤ グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を外国において取得した者

⑥ 欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格を外国において取得した者

⑦ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和 7 年（2025 年）3 月までに 18 歳に達するもの

(3) 令和 4 年（2022 年）11 月以降に実施された「TOEFL」又は「TOEIC Listening & Reading Test（TOEIC L&R）」を受験した者

※ TOEFL iBT Home Edition は認めません。

※ TOEFL ITP は認めません。

※ TOEIC IP テストは認めません。

(4) 日本学生支援機構の 2024 年度日本留学試験（6 月実施分）において、各コースが指定する科目の合計点が 80%（850 点満点中 680 点）以上の者

日本留学試験の受験科目（◎は必須）

コ ー ス	日本語	数 学		理 科			出題言語 (日本語 又は英語)
		コース 1 (文系数学)	コース 2 (理系数学)	物理	化学	生物	
建築学コース 都市工学コース デザインコース 機械工学コース 医工学コース 電気電子工学コース 物質科学コース 共生応用化学コース	◎	—	◎	◎	◎	—	自由選択

3. 個別の入学資格審査

「2. 出願資格」の(2)の①～⑤に該当せず、⑥の要件で出願しようとする者は、出願に先立ち、次により入学資格審査の申請を行ってください。（「2. 出願資格」の(2)の①～⑤に該当する者は、入学資格審査の申請を行う必要はありません。）

(1) 入学資格審査申請期間 令和 6 年（2024 年）8 月 2 日（金）～8 月 8 日（木）〔必着〕

(2) 申請方法及び提出先

以下の書類を申請期間の 9 時から 17 時までに学務部入試課入試係へ直接持参してください。

やむを得ず、郵送する場合は、配達に要する日数を見込んで早めに書留速達等で【〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1 番 33 号 千葉大学学務部入試課入試係】あてに郵送してください。申請期間内までに到着しない場合は、受理しません。

認定の結果は、本人あて文書で通知します。9 月 5 日（木）までに届かない場合には、学務部入試課入試係まで問い合わせてください（電話：043-290-2182）。

ア 入学資格審査申請書（以下の URL からダウンロードして、使用してください。）

https://www.chiba-u.ac.jp/admissions/gakubu/r7_nyugakushikakushinsa.pdf

イ 成績証明書、修了（見込）証明書

ウ 出身学校の履修規程(カリキュラム)等（卒業に必要な授業科目・単位数がわかるもの）

エ 結果通知用封筒

長形 3 号の封筒を用意し、郵便番号、住所、氏名を記入し、84 円切手を貼ってください。
（日本国内に住所を有しないときは知人等の日本国内の住所等を記入してください。）

4. 身体等に障害のある入学志願者の事前相談

身体等に障害があり、受験上又は修学上特別な配慮を必要とするものは、出願に先立ち、次により事前相談の申請を行ってください。

(1) 提出書類

- ① 事前相談申請書（用紙は、工学系学部学務室に請求してください。）
- ② 医師の診断書（障害の程度及び必要とする具体的な措置等を記載したもの）

(2) 相談内容の検討

提出された書類に基づき、本学関係者で検討を行います。ただし、検討の過程において、志願者本人、保護者又は出身学校関係者へ照会する場合があります。

(3) 事前相談の締切日

令和6年（2024年）9月6日（金）

(4) 申請書請求先及び書類提出先

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1番33号
千葉大学工学系学部学務室
電話 043-290-3054

5. 出願手続等

千葉大学工学部私費外国人留学生選抜の出願は、「インターネット出願」による手続となります。

利用案内や出願方法等の詳細は、千葉大学ホームページに掲載する出願サイト（ガイダンスサイト）を参照してください。

なお、インターネット出願では、出願サイトでの出願情報の登録及び検定料の入金だけでは出願は完了しません。出願書類が所定の出願受付期間内に本学に到着してはじめて出願完了となりますので、あらかじめご注意ください。

インターネット出願の流れ					
					
募集要項を 確認	出願サイトで 出願情報登録	証明写真を アップロード	検定料のお支払	志願票を印刷	必要書類を 郵送
手順〔1〕	手順〔2〕	手順〔3〕	手順〔4〕	手順〔5〕	

出願サイト
千葉大学ホームページから出願サイト（ガイダンスサイト）にアクセスします。 ガイダンスサイトでは、「利用案内」や「出願方法」のほか、「よくある質問」を掲載していますので、出願を始める前によくお読みください。  https://www.chiba-u.ac.jp/admissions/gakubu/special.html

出願期間	
出願サイトでの出願情報登録期間	令和6年9月17日（火）9時～9月27日（金）15時
出願書類受付期間	令和6年9月24日（火）～9月27日（金）【 必着 】
(注) 1 出願書類は、①～⑦の出願書類を取り揃えて、配達に要する日数を見込み、余裕をもって郵送してください。<u>出願書類受付期間内に到着しない場合は、受理できません。</u> なお、日本国外から出願する場合は早めに EMS で発送してください。郵送用の封筒を各自で用意し、EMS の送り状（ラベル）のお届け先に「千葉大学工学部（私費外国人留学生選抜願書）」と記入の上、早めに EMS で発送してください。 2 やむを得ず持参する場合は、出願受付期間（土日を除く。）の9時から12時、13時から17時の間に、事前に連絡をしたうえで、工学系学部学務室へ直接持参してください。	
出願方法	
次ページ以降の(1)出願の手順〔1〕～〔5〕により行ってください。出願方法全般について不明な点があるときは、工学系学部学務室へ問い合わせてください。	
(注) 1 出願書類に不備があると受理できませんので、間違いのないようよく確認してください。 2 受理した出願書類は返却しません（外国語検定試験の成績証明書等を除く）。 3 志願票等に虚偽の記載をした者は、入学後であっても入学の許可を取り消すことがあります。 4 出願後、転居等の理由により、出願サイトで登録した現住所・連絡先に変更がある場合は、直ちに工学系学部学務室へ連絡してください。	

(1) 出願の手順

〔1〕募集要項の確認、提出書類の準備	
募集要項をよく読んで出願資格を確認し、以下に注意して出願書類等を準備してください。	
(注) 1 出願資格に応じた証明書類（成績証明書等）の提出が必要です。9ページを確認の上、証明書類を準備してください。 2 外国語検定試験成績は、9ページで詳細を確認の上、該当する検定試験の成績証明書等（原本）、成績証明書等のコピー及び返送用封筒を準備し、出願書類に同封してください。	

〔２〕出願情報の登録

千葉大学ホームページから出願サイト（ガイダンスサイト）にアクセスし、必要事項を登録してください。

出願登録の際は、以下の（注）及び出願サイトの「利用案内」や「よくある質問」等をよく読み、誤りがないか十分確認してください。

出願サイトは、千葉大学ホームページからアクセスしてください。

（ <https://www.chiba-u.ac.jp/admissions/gakubu/special.html> ）

※操作に関するお問い合わせは、志願受付操作サポート窓口までお願いします。

志願受付操作サポート窓口

TEL：0120-752-257 （受付 9 時～20 時）

※お問い合わせの前に「よくある質問」をご確認ください。

（注） 出願情報の登録完了前に「入力内容の確認画面」で誤りがないかよく確認してください。

入力内容に誤りがある場合には、状況に応じて、以下のとおり対応してください。

■ 出願情報の登録完了前 ▶ 入力画面に戻って誤った内容を修正してください。

■ 出願情報の登録完了後 ▶ 検定料の入金状況により、いずれかの対応をしてください。

1) 検定料入金前 ▶ 検定料は入金せず、再度はじめてから出願情報の登録を行ってください。

誤った内容の出願登録は、そのままにしておいて構いません。

2) 検定料入金後 ▶ 出願サイトでは誤った内容を修正できません。速やかに工学系学部学務室へ連絡し、その指示に従ってください。

ただし、「現住所」と「連絡先」の誤りに限り、8 ページ「〔５〕志願票の印刷・出願書類の郵送」の（注）3 のとおりに修正してください。

〔３〕証明写真のアップロード

試験当日における本人照合用の証明写真を、出願サイトにアップロードしてください。

（注）1 証明写真データは、直近 3 ヶ月以内に撮影した、カラー写真（白黒不可）、上半身・正面・無帽、背景なし、枠なしのものに限ります。英文字や数式、地図等がプリントされている服等を着用しているものも不可とします。

2 写真データのサイズは 100KB 以上 5MB 以下、データ形式はファイル拡張子が「jpeg」又は「png」のいずれかであることが必要です。

〔４〕検定料の支払い

クレジットカード決済，コンビニエンスストア決済，銀行 ATM（Pay-easy）又はネットバンキングで検定料 17,000 円を支払ってください。

上記〔２〕出願情報の登録が完了すると，登録したメールアドレス宛てに出願登録確認メールが届き，支払い方法の詳細をお知らせしますので，よく確認の上，支払ってください。

- (注) 1 検定料のほかに，手数料（インターネット出願システム使用料）700 円が必要です。
 なお，手数料は志願者負担となります。
- 2 いったん納入した検定料は原則として返還しません。ただし，検定料を誤って振込み出願しなかった者については，検定料の全額（17,000 円）を返還します。返還手続きを希望する旨を工学系学部学務室に連絡してください。
- （返還手続の期限：令和 7 年 3 月 31 日（月）17 時まで）

〔５〕志願票の印刷・出願書類の郵送

また以下の出願書類①～⑧を用意し，「出願用封筒」に同封の上，出願書類受付期間（6 ページ参照）に届くように，**工学系学部学務室**に簡易書留・速達郵便で送付してください。

- (注) 1 日本国内から出願する場合の「出願用封筒」は，出願サイトから「出願用ラベル（宛名入り）」をダウンロードし，A 4 用紙にカラー印刷したものを，市販の角形 2 号封筒（240mm×332mm）に貼って作成してください。
- 2 日本国外から出願する場合の「出願用封筒」は，郵送用の封筒を各自で用意し，EMS の送り状（ラベル）のお届け先に「千葉大学工学部（私費外国人留学生選抜願書）」と記入の上，早めに EMS で発送してください。
- 3 「志願票」及び「出願用ラベル」の印刷後，記載内容に誤りがないか確認し，誤りがある場合は，速やかに工学系学部学務室に連絡してください。ただし，「現住所」及び「連絡先」に誤りがあった場合に限り，二重線を引き（訂正印は不要），余白部分に正しい内容を明記の上，送付してください（志願票の※欄には何も記入しないでください）。

出願書類		摘要
①	千葉大学志願票	出願サイトからダウンロードし，A 4 用紙にカラー印刷してください。

②	成績証明書、 修了証明書 等	該当する証明書類の原本を提出してください。														
		<table><thead><tr><th>出願資格</th><th>提出書類</th></tr></thead><tbody><tr><td>1. 外国において学校教育における 12 年の課程の修了(見込)者</td><td>成績証明書及び修了(見込)証明書 (原本が日本語でない場合は、日本語訳も添付してください。日本語訳はご自身で翻訳したもので構いません。また、大学卒業(見込)者は、大学の成績証明書及び修了(見込)証明書をあわせて提出してください。)</td></tr><tr><td>2. 上記 1 に準ずる者で文部科学大臣の指定したもの</td><td>次のうち該当するすべての書類 (1) 我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程の成績証明書及び修了(見込)証明書 (2) 外国において、高等学校に対応する学校の課程の成績証明書及び修了(見込)証明書 (3) 当該国の検定の合格成績証明書</td></tr><tr><td>3. 国際バカロレア資格取得者</td><td>最終試験 6 科目の成績証明書及び資格証書</td></tr><tr><td>4. アビトゥア資格取得者</td><td>一般的大学入学資格証明書</td></tr><tr><td>5. フランス共和国におけるバカロレア資格取得者</td><td rowspan="2">バカロレア資格試験成績証明書</td></tr><tr><td>6. 欧州連合構成国におけるヨーロッパ・バカロレア資格取得者</td></tr><tr><td>7. ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格取得者</td><td rowspan="2">成績評価証明書</td></tr><tr><td>8. インターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格取得者</td></tr></tbody></table> (注) 1 証明書の原本を提出できない場合は、原本と写し(コピー)の両方を準備してください(確認後に原本は返却します)。 2 科目名・成績評価等が符号・略字等により表示されている場合は、その説明書を添付してください。 3 事前に個別の入学資格審査の際に成績証明書、修了証明書等を提出している場合は再度提出する必要はありません。	出願資格	提出書類	1. 外国において学校教育における 12 年の課程の修了(見込)者	成績証明書及び修了(見込)証明書 (原本が日本語でない場合は、日本語訳も添付してください。日本語訳はご自身で翻訳したもので構いません。また、大学卒業(見込)者は、大学の成績証明書及び修了(見込)証明書をあわせて提出してください。)	2. 上記 1 に準ずる者で文部科学大臣の指定したもの	次のうち該当するすべての書類 (1) 我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程の成績証明書及び修了(見込)証明書 (2) 外国において、高等学校に対応する学校の課程の成績証明書及び修了(見込)証明書 (3) 当該国の検定の合格成績証明書	3. 国際バカロレア資格取得者	最終試験 6 科目の成績証明書及び資格証書	4. アビトゥア資格取得者	一般的大学入学資格証明書	5. フランス共和国におけるバカロレア資格取得者	バカロレア資格試験成績証明書	6. 欧州連合構成国におけるヨーロッパ・バカロレア資格取得者	7. ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格取得者
出願資格	提出書類															
1. 外国において学校教育における 12 年の課程の修了(見込)者	成績証明書及び修了(見込)証明書 (原本が日本語でない場合は、日本語訳も添付してください。日本語訳はご自身で翻訳したもので構いません。また、大学卒業(見込)者は、大学の成績証明書及び修了(見込)証明書をあわせて提出してください。)															
2. 上記 1 に準ずる者で文部科学大臣の指定したもの	次のうち該当するすべての書類 (1) 我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程の成績証明書及び修了(見込)証明書 (2) 外国において、高等学校に対応する学校の課程の成績証明書及び修了(見込)証明書 (3) 当該国の検定の合格成績証明書															
3. 国際バカロレア資格取得者	最終試験 6 科目の成績証明書及び資格証書															
4. アビトゥア資格取得者	一般的大学入学資格証明書															
5. フランス共和国におけるバカロレア資格取得者	バカロレア資格試験成績証明書															
6. 欧州連合構成国におけるヨーロッパ・バカロレア資格取得者																
7. ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格取得者	成績評価証明書															
8. インターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格取得者																
③	「TOEFL」又は「TOEIC L&R」の成績評価証明書	令和 4 年(2022 年)11 月以降に実施された Educational Testing Service (ETS) の実施する Test of English as a Foreign Language (TOEFL) 又は Test of English for International Communication Listening & Reading (TOEIC L&R) について、以下の書類を提出してください。 ・TOEFL: 「Test Taker Score Report」(受験者用控えスコア票)の原本とその写し(コピー)(確認後に原本は返却します。) ・TOEIC L&R: 「Official Score Certificate」(公式認定書)の原本とその写し(コピー)(確認後に原本は返却します。) ※ TOEFL iBT Home Edition は認めません。 ※ TOEFL ITP は認めません。 ※ TOEIC IP テストは認めません。														

④	日本留学試験の受験票の写し (コピー)	2024 年度日本留学試験 (6 月実施分) の「受験票の写し (コピー)」を提出してください。 また、4 ページの「2. 出願資格」(4) に定める点数を満たしているかを確認してください。																		
⑤	住民票の写し (コピー不可) または パスポートの写し (コピー)	住民票の写し (コピー不可) は、市区町村発行のもの (在留資格及び在留期間が記載されており、かつ 個人番号 (マイナンバー) が記載されていないこと)。なお、出願時に海外に在住していて、住民登録していない者はパスポートの写しでも構いません。 パスポートの写しを提出する場合は、以下の写しを提出してください。 ・本人の氏名、生年月日、性別を表示する部分 ・日本国査証があればその部分																		
⑥	履歴書	千葉大学工学部のホームページに掲載している所定の様式に記入してください。 出願する年月まで空白の期間がないように記入してください。 https://www.f-eng.chiba-u.jp/admission/application.html																		
⑦	「TOEFL」又は 「TOEIC L&R」の 成績評価証明書等 送付用封筒	・日本国内に送付を希望する場合 角形 2 号の封筒を各自で用意し、日本国内の郵便番号、住所及び氏名を記入し、180 円分の郵便切手を貼ってください。 ・日本国外に送付を希望する場合 (日本国内に知人等がない場合) EMS (国際スピード郵便) で送付します。【送付先の住所・氏名等を記載した封筒】 (サイズは自由) を各自で用意し、以下の金額分の日本の郵便切手又は国際返信切手券 (International Reply Coupon) を同封して願書等とともに提出してください。EMS に対応していない地域の場合は、工学系学部学務室までご相談ください。 【各地域への送付に必要なとなる日本の郵便切手の金額又は国際返信切手券枚数】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>地域</th><th>日本の郵便切手</th><th>国際返信切手券必要枚数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中国・韓国・台湾</td><td>1,450 円</td><td>10 枚</td></tr> <tr> <td>アジア (中国・韓国・台湾を除く)</td><td>1,900 円</td><td>12 枚</td></tr> <tr> <td>オセアニア・カナダ・メキシコ・中近東・ヨーロッパ</td><td>3,150 円</td><td>20 枚</td></tr> <tr> <td>米国 (グアム等海外領土含む)</td><td>3,900 円</td><td>25 枚</td></tr> <tr> <td>中南米 (メキシコを除く)・アフリカ</td><td>3,600 円</td><td>23 枚</td></tr> </tbody> </table> ※ 日本の郵便切手を用意する場合には、上記所定の額分を用意してください。 ※ 国際返信切手券等は主な郵便局で取り扱っていますが、国によっては取り扱っていない場合があります。その場合には工学系学部学務室までご相談ください。	地域	日本の郵便切手	国際返信切手券必要枚数	中国・韓国・台湾	1,450 円	10 枚	アジア (中国・韓国・台湾を除く)	1,900 円	12 枚	オセアニア・カナダ・メキシコ・中近東・ヨーロッパ	3,150 円	20 枚	米国 (グアム等海外領土含む)	3,900 円	25 枚	中南米 (メキシコを除く)・アフリカ	3,600 円	23 枚
地域	日本の郵便切手	国際返信切手券必要枚数																		
中国・韓国・台湾	1,450 円	10 枚																		
アジア (中国・韓国・台湾を除く)	1,900 円	12 枚																		
オセアニア・カナダ・メキシコ・中近東・ヨーロッパ	3,150 円	20 枚																		
米国 (グアム等海外領土含む)	3,900 円	25 枚																		
中南米 (メキシコを除く)・アフリカ	3,600 円	23 枚																		

(2) 出願書類の受理通知

本学で出願書類を受理した後、不備がなければ、出願サイト (申込確認画面 ▶ 申し込み一覧) にその旨を掲載しますので、確認してください。不備がある場合は、工学系学部学務室から問い合わせがあります。

(3) 受験票の印刷

受験票ダウンロード開始日以降、出願サイトで受験票をダウンロードし、必ず A 4 用紙に

カラー印刷してください。

受験票ダウンロード開始日

令和6年10月11日（金）14時以降（予定）

(4) 出願の際の留意事項等

- ① 出願書類に不備がある場合は、受理しません。
- ② 出願後の出願内容の変更はできません。
- ③ 受理した出願書類は、いかなる理由があっても返却しません。
- ④ 志願票等に虚偽の記載をした者は、入学後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- ⑤ 本選抜の過程で収集した個人情報入学選抜の実施のほか、管理運営業務、修学指導業務、入学選抜方法等における調査・研究に関する業務等を行うために利用します。

6. 入学選抜

(1) 選抜方法

面接の結果並びに提出された書類（「TOEFL」又は「TOEIC L&R」の成績評価証明書、出身学校の成績証明書等）及び日本留学試験の成績を総合判定のうえ合格者を決定します。

(2) 選抜日時、検査科目及び検査場

選抜日時 令和6年（2024年）10月19日（土）10時～

検査科目 面接（面接の際に、大学教育に必要な基礎学力に関する口頭試問を行います。）

検査場 工学部校舎

（注）当日は「日本留学試験受験票（原本）」及び「令和7年度（2025年度）千葉大学工学部私費外国人留学生選抜受験票」を必ず持参してください。

なお、受験に関する注意事項等の詳細については、令和6年10月11日（金）までに工学部のホームページ（<https://www.f-eng.chiba-u.jp/>）に掲載いたします。また、令和6年10月18日（金）9時に工学部掲示板へ試験室等を掲示します。

7. 合格者発表

合格者受験番号を令和6年11月8日（金）13時頃に千葉大学工学部ホームページ（<https://www.f-eng.chiba-u.jp/>）へ掲載します（11月12日（火）17時まで）。また、合格者には合格通知書等を送付します。

※ホームページにおいては、アクセスが集中しページが閲覧しづらい状況が生じる場合があります。その際は、しばらく時間を置いてから再度アクセスしていただくなどお願いします。
なお、電話等による問い合わせには応じません。

8. 入学手続等

(1) 入学手続方法

令和6年度入学手続から「WEB入学手続きシステム」を導入しています。合格者の皆様の利便性を図るため、システムを利用いただくことで大学への来校を不要とし、入学料納入もクレジットカード決済やコンビニ支払いとします。「WEB入学手続きシステム」や「入学手続」の詳細は千葉大学ホームページへ掲載し、合格者の皆様には合格通知書とともに手続き方法の案内を発送します。入学手続を行わないと入学を辞退したものと見なしますので十分注意してください。

（注）入学手続には、「受験票（又は合格通知書）」が必要ですので大切に保管してください。

(2) 入学手続の際に納入する主な経費

入学料・・・・・・・・・・・・・・・・ 282,000 円

総合工学科医工学コース以外の学生

学生教育研究災害傷害保険料・・・ A タイプ 9,380 円, B タイプ 40,710 円 (いずれも 4 年分)
(外国人留学生向け学研災付帯学生生活総合保険含む)

総合工学科医工学コースの学生

学生教育研究災害傷害保険料・・・ A タイプ 9,450 円, B タイプ 40,780 円 (いずれも 4 年分)
(接触感染予防保険金支払特約, 外国人留学生向け学研災付帯学生生活総合保険含む)

- (注) 1. 入学料の納入については、入学手続時に納入願います。詳細な納入期間及び納入方法は、合格通知書に同封の関係書類により、改めてお知らせします。
2. 授業料の納入については、入学年度の前期授業料は 5 月 (2 年目以降は 4 月となります。) に、後期授業料は 10 月に、それぞれ口座振替により納入願います。口座振替手続等の詳細は、合格者に対して改めてお知らせします。
なお、前期分・後期分授業料は、それぞれ 321,480 円 (年額 642,960 円) です。
3. 入学料及び授業料の改定が行われた場合には、改定時から新入学料及び新授業料が適用されます。
4. 納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。
5. 入学料及び授業料の納入が猶予される制度があります。詳細は、千葉大学ホームページ (<https://www.chiba-u.ac.jp/students/payment/exemption.html>) をご覧ください。
6. 学生教育研究災害傷害保険・外国人留学生向け学研災付帯学生生活総合保険料は、令和 7 年 3 月 31 日 (月) までに払い込んでください。
※当該保険について
正課中, 学校行事中, 課外活動中, 通学中における傷害事故に対して補償するものです。
又, 他人にケガをさせたり, 他人の財物を損壊したりした場合の補償, 救援者費用, B タイプにおいてはケガ・病気の補償も含まれます。なお, 保険料の改定が行われた場合には, 改定時から新保険料が適用されます。詳細は, 千葉大学ホームページ (https://www.chiba-u.ac.jp/for_school-life/support.html) をご覧ください。
7. 入学手続完了者が 3 月 31 日 (月) 17 時までに入学を辞退した場合には、申し出により既に納入済の学生教育研究災害傷害保険料を返還します。



Ⅱ コースの紹介

■建築学コース

＜芸術と技術の融合した建築物をつくる＞

人間の暮らしに不可欠な衣・食・住のうち、建築は、人間の住まいを創造する仕事です。豊か・美しい・快い・安心できるなど、社会に対する人々のニーズは様々ですが、建築にはこれらの要望を満たす具体性が求められます。社会基盤を構成する建築分野は、いつの時代においても不可欠であり、創造と進歩が常に求められる分野です。

建築学コースのカリキュラムは、歴史・設計・環境・設備・構造・構法・生産など、建築が総合的な学問であるために、多岐にわたります。将来、建築家を目指す人、設備や構造の技術者を目指す人など、様々な選択ができますが、建築を多面的に捉えられるように、また自分自身の適性を探れるように、3年次までは幅広い領域を学べるよう構成されています。個性と創造力が重視される建築設計カリキュラムでは、少人数制の演習を実践し、個々にきめ細かな指導を行っています。建築設計の授業では、建築作品を各自設計し、最後にそれを教員・学生の講評会で発表します。構造の授業では講義で知識を学ぶだけでなく、実際に構造物を製作し、その強さを予測した上で、実際に力を加え変形を調べるなど、構造物の強さを体感するプログラムになっています。

4年次になると研究室に配属され、各専門領域に特化した研究を行うことになります。本コースでは、大学院をも含めた6年一貫プログラムを指向し、さらに高度な勉強・研究を行なうための環境を整備しています。また、欧州5大学と交換留学を行うなど、国際交流にも力を入れています。

建築学コースは、高等教育機関の技術者教育プログラムを評価・認定する機関であるJABEE（日本技術者教育認定機構）の認定を受けています。これにより、本コースの卒業生は、技術士の一次試験が免除されます。所定の科目を履修することで、一級建築士試験の受験資格が得られ、多くの卒業生が取得しています。

1921年に設立された工芸図案科・木材工芸科を前身とする建築学コースには百年の伝統があります。総合建設業・住宅産業・建材製造業・設計事務所・諸官庁・教育研究機関ほか、様々な分野において、数多くの卒業生が活躍しています。

建築学コースホームページ <https://archi.gs.chiba-u.jp/>

■都市工学コース

＜魅力ある都市を創る技術を拓く＋究める＞

豊かで快適な都市生活を実現するためには、安全・安心な社会の実現に貢献する都市基盤とこれまでの都市が抱えてきた課題を解決するための魅力ある都市計画の融合が不可欠です。そのためには、災害に強い都市をつくるための防災技術、人口減少型社会に対応したコミュニティ形成など、都市に関する様々な技術問題を多角的・総合的に捉える視野も大切です。都市工学コースは、持続的で豊かな都市の創造を目指して、探求心と総合的視野を持ちつつ、多様化する都市の課題に積極的に取り組む意欲のある人を求めています。

都市工学コースの教育カリキュラムは、都市生活の基盤となるハード対策、人と人とのコミュニティなどのソフト対策に関する工学的技術を幅広く学び、確かな専門性を身に付けることができるように、1) 現場での体験型演習や実験、2) 実社会との連携、3) 少人数による実践的トレーニング、4) 常に新鮮で実践に生きる知識、5) 国際交流の5つを重視して構成されています。当コースは、都市空間計画（ソフト系）、都市基盤工学（ハード系）の2つの領域から構成され、都市計画、住環境計画、交通計画、都市デザイン、都市情報、都市施設構造、都市防災、建設材料、水循環システム、都市エネルギー、リモートセンシングなどのテーマについて、2つの領域が密接に連携しながら教育と研究を進めています。

卒業後は、都市工学に関わる国および地方自治体の技術職、民間企業（建設、鉄道、インフラ企業など）、コンサルタント（設計・調査、経営など）、シンクタンク、公共企業、教育研究機関、NPO（非営利組織）など幅広い分野で活躍しています。さらに、専門性を究め、知識と実践力の研鑽を目指して大学院（博士前期課程、博士後期課程）への進学之道もひらかれています。

都市工学コースホームページ <https://dou.tu.chiba-u.ac.jp/>

■デザインコース

＜感性と知性とを備えたデザイナーの養成＞

私達の日常生活やその環境に存在する問題点を解決し、より快適で美しいものを創造するデザインは、今、あらゆる領域で重要視されています。そのため、生活文化と深く関わり多様なニーズに柔軟に対応すると同時に、技術と科学に裏打ちされた芸術性・人間性豊かなデザインを実現することのできる能力を有し、デザイン界をリードして国際的に活躍できる人材が求められており、その育成をめざしています。

入学された皆さんは、まず、教養教育としての普遍教育科目群、工学教育の基礎としての専門基礎科目群により一般基礎教育を学習します。また同時に、専門教育の基礎となる講義や演習によって、デザインに求められる教養としての知識や技術を身につけます。専門教育においては、2年次から3年次までの2年間にわたって用意された[工業デザイン、トランスポーターデザイン、コミュニケーションデザイン、環境デザイン、デザイン科学演習]という5つの演習科目を通して、基礎から応用までの一貫した教育を体系的に学ぶことができます。また、海外協定校の学生との国内や海外でのデザインワークショップ等、国際経験を積む機会も準備されています。以上の学習を終えると、4年間の集大成ともいえるべき卒業研究、あるいは、デザイン総合プロジェクトを履修します。

2021年、千葉大学のデザインコースは創立100周年を迎えました。これを機に、本学では、ますます多様化・高度化する社会の課題に次世代のイノベーション創出によって応えるべく「デザイン・リサーチ・インスティテュート（dri）」を立ち上げました。同コースの教育カリキュラムにおいては、この“dri”の所属教員が中心となって、理論・技術の教授のみならず、同時に新設したイノベーション拠点である「墨田サテライトキャンパス」を活用しながら、リアル／バーチャル両面における多数のデザイン実践を行います。こうして、科学や技術に裏打ちされた人間性・芸術性豊かなデザイン能力を涵養し、世界のデザイン界をリードする人材を育成します。さらに、学部を卒業した約半数の人達は大学院に進学し、博士前期課程までの6年間、さらには博士後期課程までの9年間の一貫したより高度な勉学に励んでいます。

本コースの卒業生は、自動車、精密機械、家電製品、家具などの製造業、情報産業や地域開発産業等において、企画・設計・開発などの業務を行うデザイナーとして、また、全国デザイン系大学の教員や試験研究機関におけるデザイン研究者として、第一線でめざましい活躍をしています。

デザインコースホームページ <https://www.f-eng.chiba-u.jp/education/design.html>

■機械工学コース

＜身の回りから最先端までのあらゆる機械の設計＞

全ての工業製品は機械工学によって製作されています。身の回りの日常製品から遠い宇宙空間の製品まで、大型機械から原子サイズの構造物まで、輸送機械、情報機器、医療機械など全てが機械工学による製品です。

物理・化学・生物学的な現象を工学に応用し、新しい学問分野を開拓することも機械工学の重要な使命です。

工学の最先端を担っているのは機械工学なのです。

機械工学コースは大きく4つの領域に分けられます。材料・強度・変形教育研究領域、加工・要素教育研究領域、システム・制御・生体工学教育研究領域、環境・熱流体エネルギー教育研究領域です。材料・強度・変形教育研究領域では、機械に使用する新しい材料の創製・開発や材料特性を評価するための教育と研究を行っています。材料を機械に使用するためには、製品形状に加工しなければなりません。加工・要素教育研究領域では、新しい加工技術の開発研究や、機械を構成するいわゆる機械要素に関する教育と研究を行っています。システム・制御・生体工学教育研究領域では、ロボットや車両、飛行体、医療機器などの機械システムの知能化・自律化を実現することや、生物の最適運動や生命・生体機能におけるメカニズムの工学的応用を目的とする教育と研究を行っています。環境・熱流体エネルギー教育研究領域では、エネルギーの供給・利用・変換に関わる熱・流体工学の教育と研究を行っています。

このように、機械工学は広い領域を網羅しています。受験生の皆さんが取り組みたい学問領域は必ず、機械工学コースで取り扱う教育研究領域に含まれるはずです。

本コースはプロの技術者、研究者を育成することを目的としています。そのためには、数学、物理学などの基礎科目を十分に修得したうえで専門科目を学ぶことになります。そこで、基礎的な科目は1，2年次で集中的に学ぶように配慮し，2年次から徐々に専門科目を勉強します。4年次になると各研究室に配属されて前述のいずれかの教育研究領域において，これまでの学習の集大成として卒業研究を行います。

本コースの卒業生は，機械技術者として様々な企業や組織の第一線で活躍しています。近年，本コース卒業生の過半数は，高度な知識と自ら問題解決する能力を養うために，本学あるいは他大学の大学院（博士前期課程）に進学します。さらに最先端な研究を行う教員のもとで，より一層学究を極めるために，博士後期課程に進学する道も用意されています。

機械工学コースホームページ <https://www.em.eng.chiba-u.jp/~mech/>

■医工学コース

＜健康・医療・福祉に寄与するエンジニアの養成＞

少子高齢化社会を迎えた我が国では，医療・福祉・健康に関する正確な知識と高い実践力を有する工学技術者が求められています。医工学コースでは，このような社会的要請に応える人材を少人数教育環境によって育成しています。

数学や物理などの基礎科目を低学年で修得した後，高学年になるにつれて情報・電気電子，機械工学の技術体系を母体とする医工学分野の専門科目を学んでいきます。また，4年次では研究室に配属され，教員と話し合っただけで決めたテーマに沿って卒業研究に取り組みます。研究テーマの例としては，CTやMRI，超音波，PET，内視鏡などの各種診断装置によって得られる医用画像や生体信号の処理方法や計測手法の開発，低侵襲かつ安全性を高めた手術技術や支援機器の開発，高齢者や障害者の生活を保護・介護する機器の開発，医療機器の科学的安全性の評価などが挙げられます。卒業研究では学生自身の主体的な取り組みが重視され，問題発見能力，問題解決能力，論理的思考能力やコミュニケーション能力が育まれます。

医工学は工学・医学の諸領域はもちろんのこと，理学・薬学・看護学等の幅広い分野が関与する学際的な学問です。そのため，本コースの教育プログラムは，工学部の他コースはもとより，フロンティア医工学センター，医学部，看護学部，薬学部，理学部，文学部など，学内の様々な教育研究組織とも連携して実施されています。また，医工学コースには医学部附属病院の医師である教員も所属しており，医療現場を身近に感じながら実践的な教育を受けることができます。このように工学と医学とが日常的に深く関わり合った教育環境は，国内でも希有と言えるでしょう。

例年，本コースでは卒業生の約7割が大学院に進学しています。そのほとんどは本コースに併設された基幹工学専攻医工学コースに進学しており，学部から大学院まで一貫したカリキュラムによる教育が可能になっています。

また，本コースの卒業生は，医療・福祉系はもちろんのこと，電気電子，情報，通信，機械，サービス業，官公庁等の幅広い業種に就職し，第一線で活躍しています。

医工学コースホームページ <https://www.tms.chiba-u.jp/>

■電気電子工学コース

＜電気電子工学の基礎学問から先端的应用分野まで＞

電気電子工学は20世紀後半から急速な発展を遂げ，電気機器，情報通信，電気・ガス，精密機械，運輸，輸送機器，化学プラント，医療機器，公共システムなど，あらゆる工学分野に深く浸透した最重要基盤技術として社会を支えています。現代社会は電気電子工学の体系に基づいた技術によって支えられていると言っても過言ではありません。本コースでは，このような実社会において活躍できるための電気電子工学に関する基礎学問の素養を身に付けるとともに，他の分野や工学以外の異なるバックグラウンドの人材と協調して新しい技術を創造できる学際的な素養を持った人材の養成を目指しています。

本コースでは，基礎的学問である電磁気学，回路理論を出発点として，高度情報化社会の根幹を担う情報通信の分野から，文明社会を支えるエネルギー変換とその利用技術，および様々な半導体集積回路や材料，最新の電子工学の発展に裏付けられたコンピュータハードウェアやロボット制御に至る分野まで，基礎から応用までの広範な分野の教育・研究を総合的に実践していきます。社会

の要請なども考慮して、電気電子工学の専門教育を展開して行くと共に、他分野にも向かっていける本当の学際性を涵養し、旧来の電気電子工学の枠にとらわれない視野の広い学生の育成を目標としています。

本コースの研究組織は、電気システム工学、電子システム工学、情報通信工学の研究領域から構成され、世界トップレベルの研究教育拠点形成を目指して活発に活動しています。なお、4年次に進級すると研究課題を選択して研究分野に所属し、教育に加え研究の第一線で活躍する教員のもとで知的興味を喚起される卒業研究を行います。

本コースの卒業生は、現代産業に必要不可欠な基盤を担っており、あらゆる産業領域の企業や組織の第一線で活躍しています。さらに、最近では卒業生の80%近くが、高度な知識と自ら問題解決する能力を養うために、本学、あるいは他大学の大学院に進学し、修了後は産業界ばかりでなく公的研究機関などの広い分野で活躍しています。さらにはより一層学究を極めるために博士後期課程に進学する道も用意されており、多くの先輩が第一線の研究者や技術者として活躍しています。

電気電子工学コースホームページ <https://www.te.chiba-u.jp/>

■物質科学コース

＜物理学/化学の枠組みを超えて、物質の本質に迫り、その機能を応用する＞

工学の数多くのイノベーションの成果は、物質・材料を介して目に見える形へと実現されていきます。近年の科学技術の進歩により、原子や分子、その集合体をより精密に操作することが可能になりつつあります。これによって、さまざまな新しい現象が見つかり、新しい形での応用ができるようになってきました。これらは広くナノテクノロジーと呼ばれていますが、物理学や化学を包含し、現在も大きく発展し続けている境界的な科学・工学領域です。そして、たとえば新しい電子デバイスや画像デバイスが、このような技術に基づいて生まれてくることが期待されています。物質科学コースは、物理学および化学を基礎としつつ、その枠組みを超えて、さまざまな物質の性質・機能を探り、またそれを工学的に応用・活用することを目指しています。物質についての理解は現代の科学の根幹をなすものであり、高度情報化社会の基礎を支える物質についての科学を、深く掘り下げると同時に幅広い眼で全体を俯瞰し、また応用展開できる人材を育成する—これが本コースの目標です。

物質科学で学ぶべき対象は極めて広範囲にわたるため、物理学的な側面からの教育プログラムと、化学的側面からの教育プログラムがあり、学生はいずれかを選択します。これらのプログラムは独立なものではなく、共通して学ぶ部分も多く、相互に連携したものです。どちらも、物質科学の理解を通して広く自然科学や工学技術一般についても深い理解を得られるように構成されています。これらによって、分野の壁を越えた科学的方法論（思考法、探求法）と、それらの工学的応用価値や社会的意義を深く理解し、実践できる技術者、研究者を育てます。特に、4年次で行われる1年間の卒業研究では、コース教員の研究室で研究チームの一員として最先端の研究を行います。

本コースでは、その主な母体となった画像科学科とナノサイエンス学科の教育及び研究を発展的に統合・継承しています。両学科とも、他大学にはないユニークな視点と教育内容をもった学科であり、社会や産業界で高く評価されている人材を輩出してきました。物質科学コースの卒業生にも高い社会的期待が寄せられています。本コースを修めた学生に想定される就職先としては、電気、印刷・写真、通信、情報、半導体、エネルギー等に関わる会社や技術系の公務員が挙げられます。また、本コースで所定の科目を履修すると、中学校及び高等学校の理科教諭免許を取得することができます。

物質科学コースホームページ <https://www.tp.chiba-u.jp/ms/>

■共生応用化学コース

＜バイオと環境をキーワードとする新しい応用化学＞

現代の「応用化学」は単に科学技術を発達させるだけでなく、環境を保全しつつ地球資源を有効に活用して人類の真の福祉に貢献することが求められています。そのためには、環境に調和する化学プロセスの開発や、環境に適合した新物質の創製が不可欠です。例えば、生物が有する外部刺激応答性などの機能を化学の立場から理解し、それらの機能を超越するプロセスや物質を実現することです。このような技術開発こそが人類が環境と調和し、他の生命と共生していくことを目指すも

のであり「新しい応用化学」になります。このような観点に立脚し、本コースは新しい化学及び化学プロセスの開発を担う人材の養成を目的にしています。

共生応用化学コースでは、化学はもちろんのこと、専門分野の基礎となる数学・物理学・生物学などの素養を1年半の共通基礎の教育により涵養し、その後の専門教育では化学及び化学に関連する工学を幅広く修得できるようになっています。新しい機能や高度な性能を持つ物質を多角的な視点から開発することを学ぶ応用化学科目群、生体機能を代替あるいは模倣する人工材料の設計や構築に関して学ぶ生体関連科目群、環境適合性プロセスや材料について学ぶ環境調和科目群など多様な授業科目が履修でき、個性と自主性を重視したカリキュラムとなっています。

3年次後半から配属される研究室には、「バイオ機能化学領域」にバイオプロセス化学、バイオマテリアル、ソフト材料化学、「環境調和分子化学領域」に精密有機化学、環境調和有機合成、エネルギー変換材料化学、「無機・計測化学領域」にセラミックス化学、極限環境材料化学、計測化学、環境化学、「資源プロセス化学領域」に触媒化学、表面電気化学、資源反応工学等の研究室があり、さらに、有機ナノ界面化学、分子集合体化学、環境マネジメント工学、分子構造解析化学（千葉大学共用機器センター）を配属先として選ぶこともできます。セミナーや卒業研究を通じて先端的な研究を行い、基礎と専門の学力及び広い視野を身に付けます。

本コースの卒業生は、化学、材料、電子、機械、情報、医薬、エネルギーなど、幅広い産業界での活躍が期待されています。また、より高度な教育・研究を行う大学院（博士前期課程、博士後期課程）が用意されています。

共生応用化学コースホームページ <https://chem.tf.chiba-u.jp/>

Ⅲ 入学後の教育について

工学部では、次のとおりコースごとに入学者を募集します。出願したコースで合格すれば「総合工学科」の志願したコースに配属されます。また、複数のコースを束ねた3つの系（「建築・デザイン系」、「機械・電気・応用物理系」、「応用化学・環境系」）のいずれかに所属します。

各コースに正式に配属される2年次進級時には、前述のとおり入学時に配属されたコースに進学することが可能ですが、希望により1年次に所属する系内の別のコースへ進むこともできます。ただし、別のコースに進む場合は、面接により教育上の必要性を判断します。また、各コースが課している条件や教室設備等の収容人数の関係により、一定の制限があります。さらに、希望者が多数となった場合は1年次の成績により可否を決定します。ただし、私費外国人留学生選抜での入学者はコースの変更はできません。

（１）募集人員及び系について

コース	募集人員			系(1年次の教育)		
	一般選抜		特別選抜	建築・デザイン系	機械・電気・応用物理系	応用化学・環境系
	前期日程	後期日程	総合型選抜			
計	407	104	29			
建築学コース	(50)	(19)	-	◎	-	-
都市工学コース	(30)	(12)	-	◎	○	-
デザインコース	(44)	-	20	◎	-	-
機械工学コース	(55)	(19)	-	-	◎	-
医工学コース	(30)	(9)	-	-	◎	-
電気電子工学コース	(56)	(20)	-	-	◎	-
物質科学コース	(70)	-	9	-	◎	◎
共生応用化学コース	(72)	(25)	-	-	-	◎

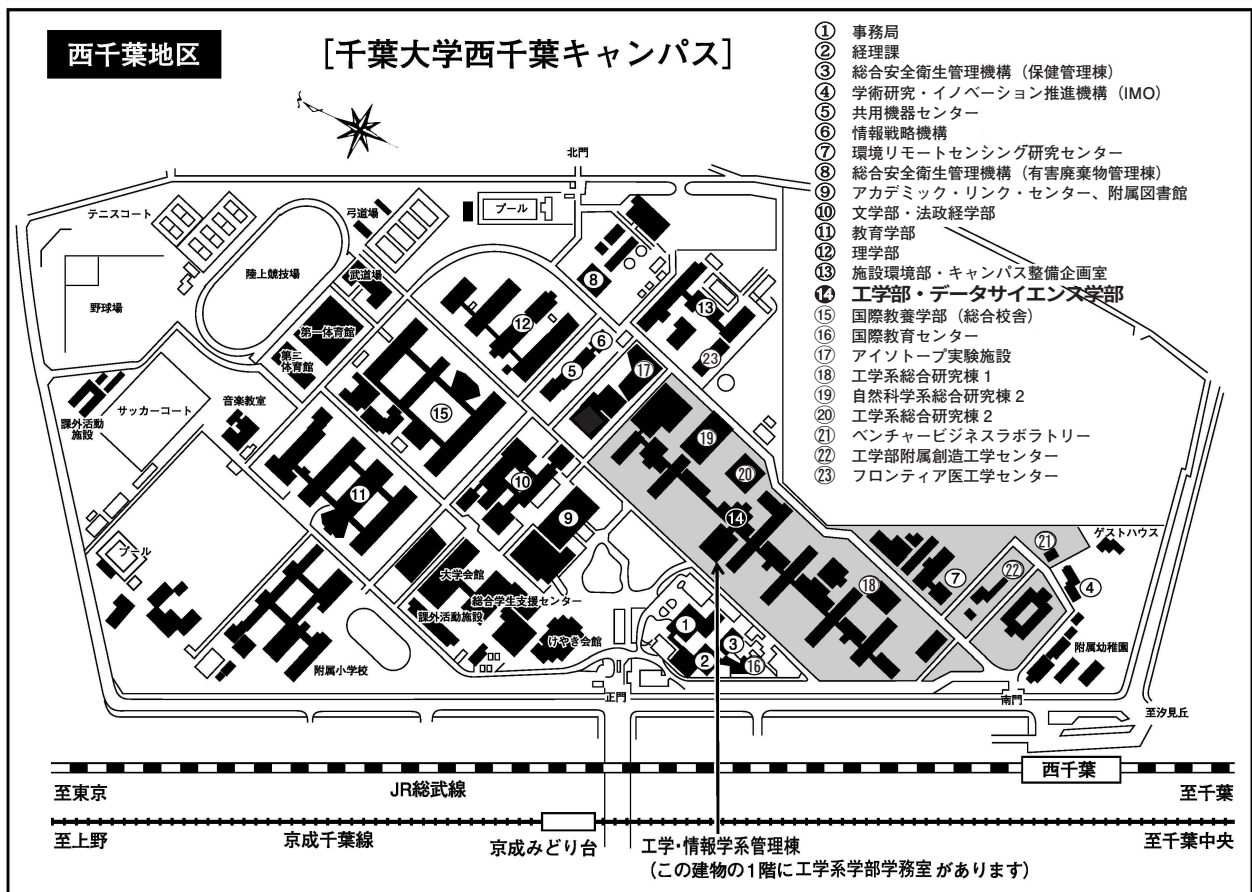
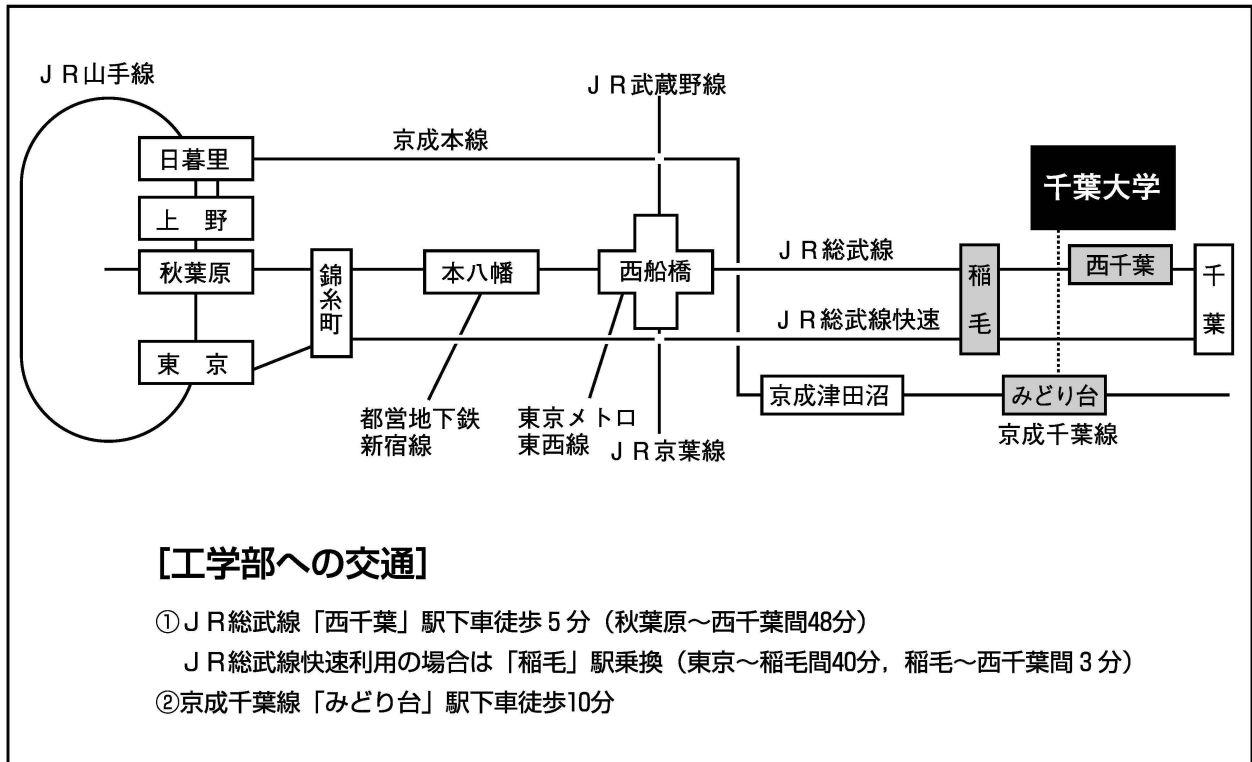
※募集人員の各コースの内訳〔（ ）内の数〕人数はおおよその数であり、志願状況等で増減します。

（２）系についての説明

系（1年次の教育）について、◎は各コースが主とする教育内容の系を示しており、コースの学生の多くが所属することを想定している系になります。また、○は各コースが副とする教育内容の系を示します。系の所属は、出願時に志願するコースとともに◎もしくは○の系を選択して、所属することになります。1年次の授業については、工学全体を理解するための授業（工学基礎セミナー）、所属する系に関係するコースを中心に各コースの専門分野について理解を深めるための授業（工学入門A～C）を実施し、2年次以降のコース配属や専門的な授業の履修に繋がるよう配慮がなされます。なお、私費外国人留学生選抜での入学者はコースの変更はできません。

建築・デザイン系	建築学コース，都市工学コース，デザインコースに配属された学生が所属する系です。
機械・電気・応用物理系	都市工学コース，機械工学コース，医工学コース，電気電子工学コース，物質科学コースに配属された学生が所属する系です。
応用化学・環境系	物質科学コース，共生応用化学コースに配属された学生が所属する系です。

千葉大学案内図



千葉大学工学系学部学務室

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1番33号

電話: 043(290)3054 mail: mak3054@office.chiba-u.jp

問い合わせは月曜日から金曜日(祝日等を除きます)の9時から12時及び13時から17時まで